



大地整第 45 号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

大蔵村長 加藤 正 美



道路整備の中期計画の作成にあたってのご意見の提出について（報告）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあった標記のことについて別紙のとおり報告いたします。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見として、

◎重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・高速道路（高規格道路）のネットワーク化を推進し、地方都市・周辺市町村からのアクセスとの時間的距離の短縮による都市との対流、社会経済の活性化を図る。
- ・災害に強い安心安全な道路づくり。
- ・雪道に強い道づくり。
- ・地方では、まだまだ生活に直結する道路が未整備なため、県管理国道、幹線県道、幹線市町村道の整備促進を図る。

◎効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・個々の事業、路線等を集中的に整備するなどの重点化。
- ・新技術の活用による効率化。
- ・現在ある道路の有効活用。（国・県・市町村道を一体的に活用等）
- ・住民の協力（ボランティア等）を得ながら維持管理を推進する。

◎その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

- ・50年、100年を見据え、歴史・景観・環境等に配慮した道づくりも必要と思う。
- ・地方では、道路財源の問題をはじめ地方交付税の減額により道路の維持管理も容易にできない市町村も増えている。住民ニーズは国道並みの維持管理を求めており、とても対応できない状況にある。また、橋梁、トンネル、舗装の老朽化、劣化も著しく、国民の足元からの再整備も地方では必要となっている。県・市町村の道路財源の確保も急務となっている。